

## サステナビリティ方針

当社グループは、SDGs(持続可能な開発目標)への取り組みを重要な経営課題と位置づけ、その具体的な取り組みの指針としてサステナビリティ方針を制定しています。



### 基本的な考え方

当社グループは、経営理念において社会への貢献を掲げ、環境理念において重要課題として地球環境保全への取り組みを掲げております。これらの理念を実現し、社会の持続的な発展に貢献するための取り組みの指針としてサステナビリティ方針を制定しています。

### 企業理念

#### 経営理念

東洋電機グループは下記の経営理念を掲げ実践し社業を発展させ株主及び関係者各位の付託と理解に応え社員と喜びを共にする

- 倫理を重んじ 社会・顧客に貢献する
- 進取創造の気風を養い 未来に挑戦する
- 品質第一に徹し信用を高める

#### 環境理念

東洋電機グループは、地球環境保全への取り組みを重要課題に掲げ、持続可能な社会の発展に貢献します。

#### <行動指針>

「地球と人に優しい未来技術」により地球環境への負荷に配慮した製品およびサービスを提供していきます。

1. 環境に関する法規制などの要求事項を遵守します。
2. 製品の企画・開発・設計・製造・販売・使用および廃棄の全てのライフサイクル段階で、エネルギー消費の削減など環境負荷の低減に努めます。
3. 地球環境保全活動を継続して推進するシステムを確立し、実行します。
4. グループ内の啓発を通して、一人ひとりの意識向上を図ります。

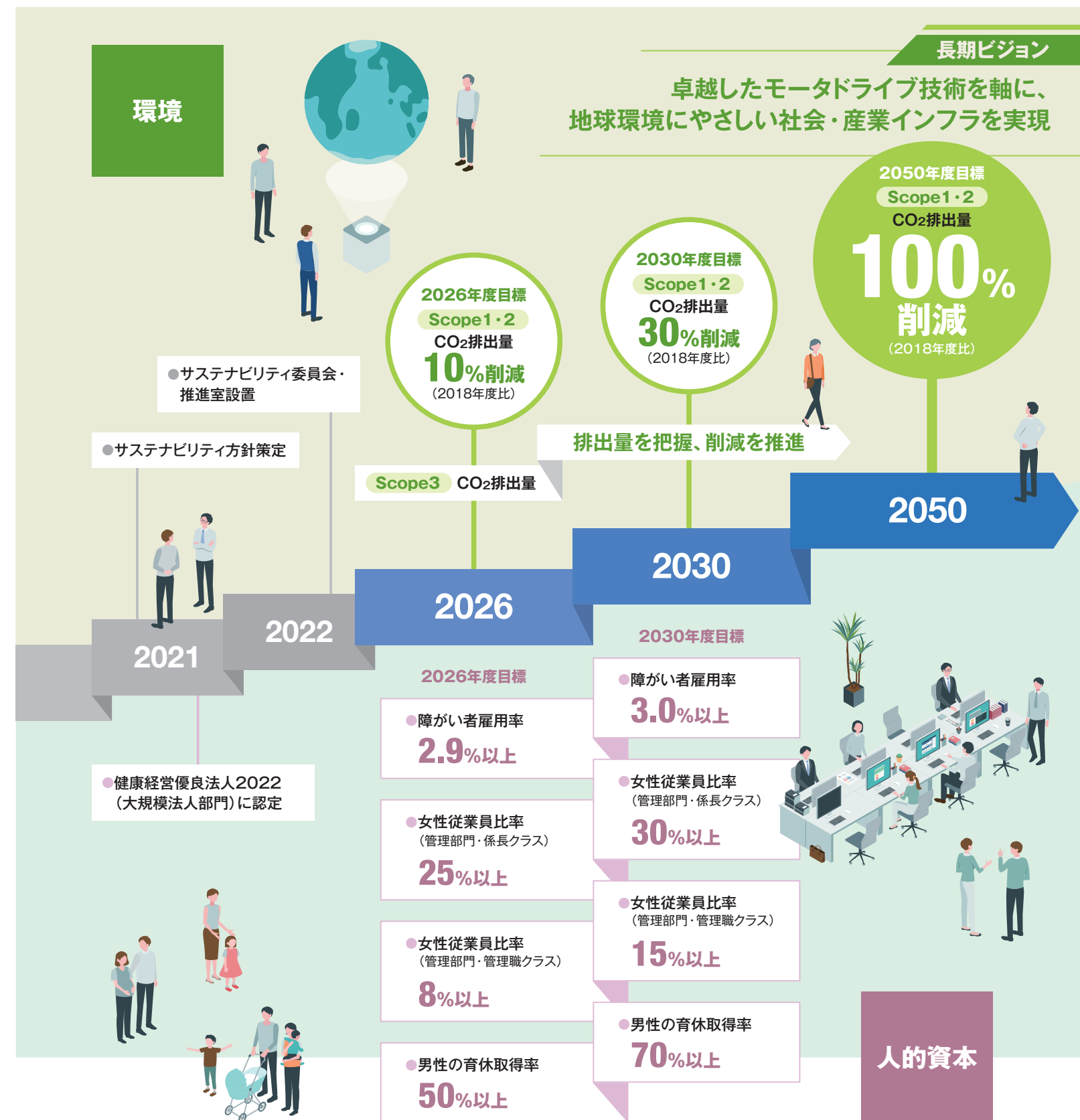
当社グループ企業スローガン

～心と技術を未来に～ Our Heart and Technology for the Future

### サステナビリティ方針

3つの視点	製品・サービスにおける取り組み	生産活動における取り組み	人と地域を大切にする取り組み
方針	卓越した当社グループの技術を用いて、持続可能な社会の実現に貢献する製品サービスを提供します。	生産活動での環境負荷を低減し、地域の環境をまもりつづけます。	従業員や地域社会を大切にし、心を未来に届けます。
具体的な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 小水力発電等の脱炭素エネルギー供給</li> <li>● 鉄道やEVなど省エネな移動機関の普及</li> <li>● 電気機器の効率化・蓄電システムの普及</li> <li>● 交通機関バリアフリー化による安全性向上 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 生産使用エネルギー量の削減</li> <li>● 太陽光発電、使用エネルギー脱炭素化検討</li> <li>● 材料・製品輸送時のエネルギー削減</li> <li>● 生産現場、事業所でのリサイクルの取り組み 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 大学寄附講座、工場見学会の受け入れなど学校教育支援</li> <li>● タイバーシティ&amp;インクルージョンの推進</li> <li>● 健康経営・ウェルビーイングの推進</li> <li>● 地域環境を守り、自然保護に貢献 等</li> </ul>

## サステナビリティロードマップ



## 製品・サービスにおける取組み

～卓越した当社グループの技術を用いて、持続可能な社会の実現に貢献する製品サービスを提供します。～

事業区分	事業内容	当社が提供する価値	重点的に取り組むSDGs	取組み事例
交通事業	鉄道車両用電機品	高品質な鉄道車両用電機品の供給を通じて、世界の鉄道インフラの発展に貢献	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 9 産業と技術革新の 基盤をつくらう 11 住み続けられる まちづくりを 12 つくる責任 つかう責任	<b>【現在の取組み】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 高効率半導体の採用やプロパルジョンシステム(VVVFインバータ装置、低騒音モータなどの駆動システム)の小型軽量化</li> <li>● 製品稼働状態のリアルタイム監視と蓄積データの分析によるCBM(状態基準保全)確立で、製品故障の未然防止や省人・省力化</li> <li>● LRV(低床式路面電車)用に最適設計された各種電機品、鉄道車両用スロープ・ドアステップ装置などによるバリアフリー化</li> </ul> <b>【将来に向けた取組み】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ドライブレス運転の実現に向けた自動運転技術の開発推進</li> <li>● デジタルツイン技術の活用による新たなメンテナンスモデルの確立</li> <li>● 環境配慮設計の推進によるリサイクル性の向上や特定有害物質の排除</li> </ul>
	鉄道用電力貯蔵装置	回生電力の有効活用により、鉄道の省エネ・安定輸送に貢献	13 気候変動に 具体的な対策を	<b>【現在の取組み】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 電車のブレーキ時に発生する回生電力エネルギーの蓄電池への貯蔵、非常時における電車への電力エネルギー供給</li> </ul> <b>【将来に向けた取組み】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 鉄道軌道施設における太陽光発電と組み合わせたシステム導入によるエネルギー使用量のさらなる削減</li> <li>● 鉄道用超電導フライホイールなど新しい蓄電システムの構築</li> </ul>
産業事業	自動車試験システム	業界トップレベルの高性能モータ、インバータによる試験システムで次世代自動車開発を支援	3 すべての人に 健康と福祉を 6 安全な水とトイレ を世界中に 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 9 産業と技術革新の 基盤をつくらう	<b>【現在の取組み】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 省スペース、静粛性を備え、各種の走行試験評価に対応した次世代の自動車試験システム「インタイヤハウスダイナモ」の普及</li> <li>● 超高速ダイナモや大容量バッテリーシミュレータ等、自動車のEV化に対応した試験装置の開発と提供</li> </ul> <b>【将来に向けた取組み】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● インタイヤハウスダイナモのADAS(先進運転支援システム)への適用、自動運転システムの普及</li> </ul>
	生産・加工設備用システム	豊富な技術・製品により、お客様に最適な制御システムを提供し、世界中の「ものづくり」に貢献	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 9 産業と技術革新の 基盤をつくらう	<b>【現在の取組み】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 高効率なモータ・インバータを駆使した高度なシステム構築</li> <li>● 経済的で環境にやさしいEDモータ(Eco-Drive Motor)による生産設備の省エネ性能、メンテナンス性の向上</li> </ul> <b>【将来に向けた取組み】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● リサイクル性を向上した製品の設計、レアアースレスモータとその制御装置の開発</li> <li>● RoHS指令対応製品の拡大、REACH規則への対応の推進</li> </ul>
	発電・インフラシステム	公共インフラを支える常用・非常用発電システム、自然エネルギーを活用した発電装置の提供	11 住み続けられる まちづくりを 12 つくる責任 つかう責任 13 気候変動に 具体的な対策を	<b>【現在の取組み】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 発展途上国への常用発電装置の提供による発電インフラの整備</li> <li>● 小水力発電システム、バイオマス発電装置の普及</li> <li>● 官公庁や金融機関等向けに非常用発電装置を提供しBCP整備に貢献</li> </ul> <b>【将来に向けた取組み】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● EDモータ(Eco-Drive Motor)を用いた小型・高効率なポンプの実現</li> <li>● 水素・バイオ燃料を用いた非常用発電装置の開発</li> <li>● 分散電源システム(小規模な発電装置を消費地近くに分散配置して電力を供給する仕組み)の普及によるエネルギーの地産地消</li> <li>● 波力発電の実証実験への参画、実用化の検討</li> </ul>
	車載用電機品	パワーエレクトロニクス技術により、電気自動車(EV)、ハイブリッド自動車(HEV)の発展に貢献		<b>【現在の取組み】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 建設機械向けなど、電動化に対応した車載電機品の提供</li> </ul> <b>【将来に向けた取組み】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● EVの使用済みインバータ、モータ、バッテリーの再利用促進</li> </ul>
ICTソリューション事業	駅務機器システム	高度なICTとメカトロニクスの融合により、鉄道利用者の利便性向上と鉄道事業者の省力化を同時に実現	2 気候を ゼロに 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	<b>【現在の取組み】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 駅務機器(定期券発行機、車掌用携帯端末)の普及による鉄道の利便性向上</li> </ul> <b>【将来に向けた取組み】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● IC未導入エリアへの、QRコード・タッチ決済クレジットカード・顔認証技術活用による低価格チケットレスシステムの提供</li> <li>● 民鉄各社で共通利用可能なQRコード決済システムの提供、定期券Web予約サービスの提供</li> </ul>
	IoTソリューション	さまざまなIoT/M2Mソリューションにより、移動体や遠隔地設備の監視・制御を簡単・低価格で実現	9 産業と技術革新の 基盤をつくらう 11 住み続けられる まちづくりを	<b>【現在および将来に向けた取組み】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 電車運行情報システム、バスロケーションシステムの提供による交通機関の利便性向上</li> <li>● IoT遠隔監視システムを用いた発電装置の状態監視、警報通知、遠隔制御</li> <li>● IoT遠隔監視システムによる自然災害発生(大雨、洪水・氾濫、土砂崩れ)の予測、早期検知</li> <li>● 農業温室ハウス、養鶏場、養豚場、陸上養殖施設の遠隔監視・制御を行い、安定的な農業生産を支援</li> <li>● 冷凍食品トラック、冷凍コンテナの遠隔監視・制御で、食品の安全・安定的な流通をサポート</li> </ul>



## 生産活動における取組み

～生産活動での環境負荷を低減し、地域の環境をまもりつづけます。～

**環境理念**

**行動指針**

**東洋電機グループは、地球環境保全への取組みを重要課題に掲げ、持続可能な社会の発展に貢献します。**

「地球と人に優しい未来技術」により地球環境への負荷に配慮した製品およびサービスを提供していきます。

- 環境に関する法規制などの要求事項を遵守します。
- 製品の企画・開発・設計・製造・販売・使用および廃棄の全てのライフサイクル段階で、エネルギー消費の削減など環境負荷の低減に努めます。
- 地球環境保全活動を継続して推進するシステムを確立し、実行します。
- グループ内の啓発を通して、一人ひとりの意識向上を図ります。

### 持続可能な社会の実現をめざして

当社のめざす持続可能な社会の姿は「脱炭素社会」、「循環型社会」、「自然共生社会」です。

当社の「環境技術」は卓越したモータドライブ技術と先端技術の融合により、高効率モータやインバータといった、省エネに貢献する製品を数多く生み出しています。また、エネルギーの効率的利用だけでなく製品の小型化・軽量化により、省資源化にも努めています。

**脱炭素社会**

地球温暖化防止対策の実施

**循環型社会**

3R(リデュース・リユース・リサイクル)の推進

**自然共生社会**

生物多様性への配慮

- 当社の技術・製品による省エネ
- 生産活動における省エネ
- 再生可能エネルギーの活用
- 物流の効率化
- 廃棄物の適正処理
- 廃棄物最終処分量の削減
- 化学物質の適正管理
- 事業所周辺のクリーンアップ

など

### 環境マネジメントシステム

当社は自主的、継続的に環境問題に取り組んでいくために環境マネジメントシステムを構築・運用し、ISO14001の認証を取得しています。生産拠点で

る横浜製作所、滋賀竜王製作所をはじめ、全ての事業所で認証を取得しています。

#### ◆ ISO14001 認証取得年

横浜製作所	滋賀竜王製作所*	全社拡大
2004年	2001年	2010年

\*認証取得時は、滋賀工場（守山市）

### 地球温暖化防止への取組み

#### ■ 温室効果ガス(CO<sub>2</sub>) 排出量削減の取組み

当社は、CO<sub>2</sub>排出量削減のために、生産拠点および事業所における省エネルギー化を推進しています。特に生産拠点については、工場設備の省電力化、高効率化を進めています。また、横浜製作所では太陽光発電によりピークカットを図っています。

#### ■ CO<sub>2</sub>削減量の目標と達成状況について

当社の生産拠点である横浜製作所と滋賀竜王製作所のCO<sub>2</sub>削減目標は、サステナビリティロードマップ(P20) に掲げているとおり2026年度で10%削減となります。生産高CO<sub>2</sub>原単位の評価では前年比1%削減目途に対し、2021年度も新型コロナウイルス感染症の影響による生産高の減少により、横浜製作所で3.6%増加、滋賀竜王製作所で9.5%増加となりました。来期もCO<sub>2</sub>原単位1%削減をめざして努力してまいります。

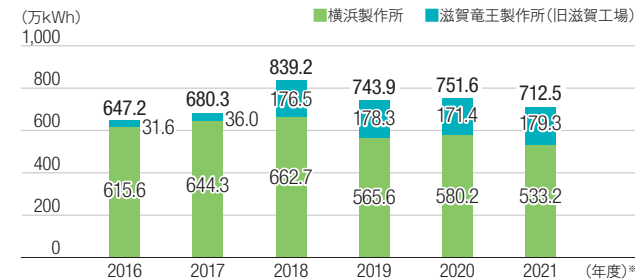
#### ■ 横浜製作所の太陽光発電システム

当社横浜製作所では、2012年に太陽光発電システム(500kW)を工場棟屋根に設置し、近年の発電量は年間60万~65万kWhで推移しており、全て自家消費しています。これにより温室効果ガスの排出削減(CO<sub>2</sub>約300トン/年相当)、地球温暖化抑制に貢献しています。

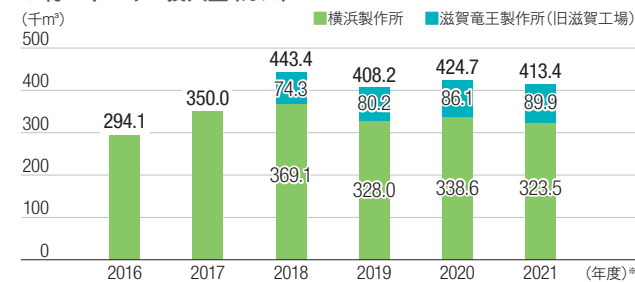


横浜製作所の太陽光発電システム

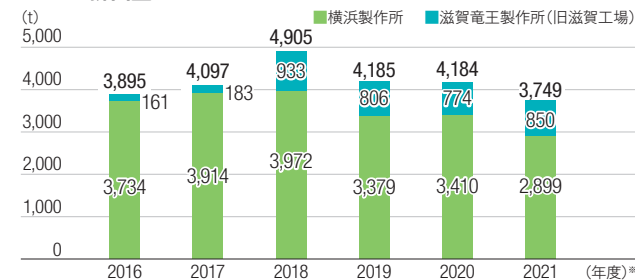
#### ◆ 総エネルギー投入量(電力)



#### ◆ 総エネルギー投入量(ガス)



#### ◆ CO<sub>2</sub>排出量



### 化学物質管理への取組み

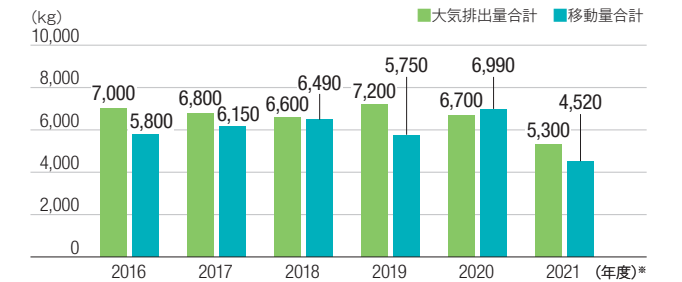
当社の事業活動により排出された揮発性有機化合物(VOC)は、PRTR制度(化学物質排出移動量届出制度)により適正に管理し、排出量を把握しています。

今後もVOCの代替化や溶剤の回収再利用などで廃棄量の削減に取り組んでいきます。また、PCB廃棄

※年度 4月から翌年3月 ※2018年度以降の滋賀竜王製作所には(株)ティーディー・ドライブを含む ※総エネルギー投入量(ガス)は、2017年度以前は横浜製作所のみ、滋賀工場は使用なし ※廃棄物・有価物排出量および最終処分量は、2017年度以前は横浜製作所のみ表記

物はPCB特措法に則り適正な管理と保管、処分を行っています。

#### ◆ PRTR届出数値推移

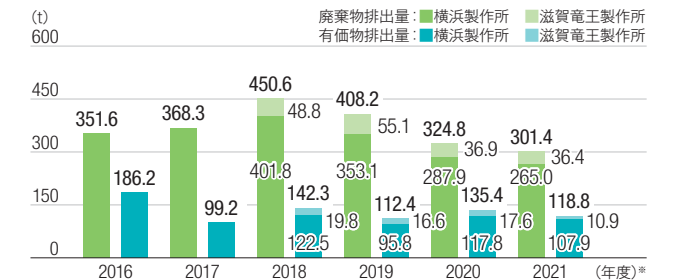


### 廃棄物処理量削減およびリサイクルへの取組み

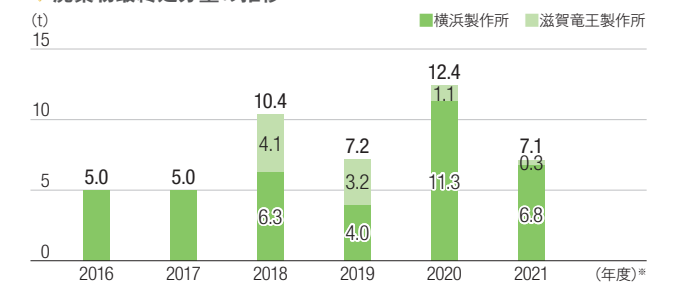
#### ■ 主な取組み

当社は廃棄物処理ルール、金属くずの分類、紙資源のリサイクルなどの活動を徹底した結果、2021年度の廃棄物の最終処分率は1.7%となりました。横浜製作所の最終処分量は、大規模メンテナンスが完了したことで、従来レベルまで減少しています。

#### ◆ 廃棄物・有価物排出量の推移



#### ◆ 廃棄物最終処分量の推移



### 品質 ~安全で高品質な製品の提供~

#### ■ 品質管理基本方針

当社の鉄道車両用電機品は、多くの鉄道車両に搭載され、鉄道輸送において人命と財産の安全確保に

直結する極めて重要な製品です。また産業事業、ICTソリューション事業においても、当社の製品とサービスは、お客様の生産設備や開発現場、社会インフラ分野でご利用いただいております。安心して住みやすい社会の持続的な発展を支える基盤となっています。

これらの製品とサービスについて高い品質を確保するため、当社は「品質方針」を定め、各生産拠点に展開し人材教育、ルールの遵守、設備の維持向上に努めています。

### 品質方針

- ① お客様に満足していただける品質保証
- ② “ゼロ”クレームへの挑戦

### 推進体制

当社の品質管理については毎期、各事業部の品質維持・向上方針に基づき、推進体制および不具合案件の低減に向けた具体的施策を展開しています。

品質管理状況および結果は、品質管理部が各事業部の品質管理・品質保証部門と連携し毎月、経営陣に報告の上、具体的施策等の進捗確認を行っています。

また出荷後の不具合については、品質保証部門を中心に速やかに対処するとともに、発生原因やメカニズムを究明しています。これらはデータベース化して情報共有し、再発防止に努めています。

## 品質マネジメントシステム

当社の生産拠点である横浜製作所ならびに滋賀竜王製作所では、品質マネジメントシステムを構築・運用し、ISO9001の認証を取得しています。

### ◆ ISO9001 認証取得年

横浜製作所	滋賀竜王製作所*	全社拡大
1997年	2000年	2005年

※認証取得時は滋賀工場(守山市)

### ■ 国際規格の取得

鉄道車両は、高い安全性が求められています。その品質を確保していくために、2007年に欧州鉄道産業連盟が、国際鉄道産業標準規格“IRIS”(International Railway Industry Standard) を制定しました。当

社は2013年に補助電源装置(SIV)において、日本で初めてIRISを取得しました。

また、2014年には歯車装置において中国鉄道検査認証センター(CRCC) 認証を取得しています。中国において高速鉄道用製品を販売するにはこの認証の取得が必要となっています。今後も国際規格の取得を進め、グローバル展開を一層推進してまいります。

## 公正で公平な調達のために

### ■ お取引先様とのコミュニケーション

当社の製品は個別受注、多品種少量生産、高信頼性要求といったさまざまな特殊性から、生産量の増減による供給調整や納入時の品質による工程遅延等、お取引先様の事情による影響を受ける可能性があります。このようなリスクを少しでも低減し、より良い品質の製品を安定的に調達するため、当社はお取引先様に対して、品質や技術・技能に関する指導・支援や生産現場の改善指導を行っています。また、主要なお取引先様にご加入いただいている「東洋電機製造株式会社協力会」を通じて、情報交換を積極的に推進しています。

### 「調達に関する行動指針」の策定について (2016年2月策定)

#### 調達に関する行動指針

顧客からの注文品を製造するために必要な購入品および外注品の調達(以下、「調達取引」)に関する東洋電機グループの役員および従業員が遵守すべき行動の基準を示します。

1. 調達取引は、関連する国々の法律を遵守して実施する。
2. 調達取引先の情報は、契約に基づき、調達活動を行う上で必要なもののみを入手する。また、調達取引を通して知り得た情報は厳格に管理し、機密の保持に努める。
3. 調達取引先と金銭貸借などの個人的な利害関係を持つてはならない。
4. 調達取引先から社会通念を超えた接待を受けたり、個人的な利益となる金銭および不適切な贈物等を受領したりしてはならない。また、調達取引先に対して、これらを強要してはならない。

## 人と地域を大切に作る取組み

～従業員や地域社会を大切に、心を未来に届けます。～

### 従業員とともに

#### 「健康経営」の推進

当社は、社員が心身ともに健康で活躍できる企業



をめざし、健康保険組合、労働組合とともに「健康経営」を推進しています。「健康経営宣言」を制定し、以下の6つの重点項目を中心に取り組んでいます。

#### 「健康経営宣言」

東洋電機グループは、「社業を発展させ株主及び関係者各位の付託と理解に応え社員と喜びを共にする」ことを経営理念に謳っています。その実現のためには、社員一人ひとりが心身ともに健康で生き活きと活躍できることが必要であると認識し、社員の健康づくりを推進していきます。

### ① 疾病予防、重症化予防

定期健康診断100%受診の維持と、成人病予防のための特定保健指導受診率の向上や2次検査受診のフォローに取り組んでいきます。

### ② ワークライフバランス

仕事と家庭の両立実現のために、柔軟な働き方ができる制度の拡充に取り組んでいます。最近では時間

#### ◆ 人事・労務関連データ(対象:東洋電機製造株式会社)

項目	単位	2018年5月期	2019年5月期	2020年5月期	2021年5月期	2022年5月期
従業員数	合計	843*	831*	841*	847*	830*
	男性	771	762	773	766	746
	女性	72	69	68	81	84
女性従業員比率	%	8.5	8.3	8.1	9.6	10.1
管理専門職数	合計	140	143	136	139	134
	男性	136	139	133	136	132
	女性	4	4	3	3	2
女性管理専門職比率	%	2.9	2.8	2.2	2.2	1.5
平均年齢	全体	40.2	40.8	41.0	41.7	42.3
	男性	40.3	40.8	40.9	41.6	42.2
	女性	39.5	40.9	41.7	42.8	43.0
	女性	14.9	15.4	15.4	16.0	16.5
平均勤続年数	全体	12.7	14.1	14.1	13.9	14.0
	男性	15.1	15.5	15.5	16.2	16.7
	女性	12.7	14.1	14.1	13.9	14.0
	女性	12.7	14.1	14.1	13.9	14.0
平均年間給与	円	6,049,512	5,756,046	5,634,571	5,518,761	5,422,507
離職率(入社後3年以内)	%	2.7	6.5	4.7	2.4	7.6
育児休業取得者数	名	4	6	2	8	4
介護休業取得者数	名	0	0	0	0	1
臨時雇用者数(パートタイマー含む)	名	130	119	106	86	81
備考		* 執行役員を含む正社員の人数ならびに特別社員、嘱託社員、契約社員、出向受入社員を含む人数				

単位年休制度の導入のほか、出産や育児、介護、配偶者の転勤などで離職せざるを得ない社員の再雇用制度を設けています。また、現在新型コロナウイルス感染症予防のために行っている時差通勤やリモートワークの制度化の検討を進めています。

育児関連制度の充実、両立支援に関する啓発活動、育児休業を取得しやすい環境づくりや男性社員の育児休業取得実績などが評価され、2014年に東京労働局から「子育てサポート企業」の認定を受け、「くるみんマーク」を取得しています。今後も、子育て支援制度の充実に取り組んでいきます。



### ③ 安全衛生活動の推進と働きやすい職場環境の実現

安全な作業環境と労働災害ゼロの実現のため、「全社安全衛生管理方針」を定め、各事業所の安全衛生委員会で各職場の課題解決に取り組んでいます。それらの取組みは、四半期ごとに開催する全社安全衛生委員会において情報共有し、各事業所の安全衛生活動のレベルアップに努めています。

### ④ 社員の健康増進、コミュニケーション促進支援

社員の自発的な健康維持・増進、社内サークル活動や職場単位での親睦行事に対して補助を行っています。また、健康保険組合、労働組合とともに健康イ



イベントなどを行い、社員の健康増進とコミュニケーション促進に努めています。

### ■5メンタル不調の予防と職場復帰支援

メンタル不調の予防と早期発見のため、毎年社員のストレスチェックを実施しています。また、管理者向けにラインケア研修を行い、コミュニケーションの重要性を認識してもらい、早期に事業所内産業保健スタッフなどに連携できるように努めています。

### ■6海外赴任者の健康管理

赴任前の健康診断を適正に行うとともに、赴任後においても定期的な健康状態の確認と健康診断結果のフォローに努めています。

### ■障がい者雇用の取組み

障がい者と健常者がともに活き活きと働く企業をめざして、職場環境の整備や職場での研修を行っています。また、地域の支援機関や特別支援学校とも連携し、職場体験実習の受け入れも行っていきます。当社の障がい者雇用率は2.84%（2022年6月現在）です。

## 社員の育成・能力開発

当社は、社員の能力を伸長し、一人ひとりがプロフェッショナルとして働く企業をめざしています。

### ■教育研修制度

当社の教育研修体系は、階層別研修、職種や役割に応じて行う個別研修、学位や公的資格などの取得支援制度、各部門で実施する部門教育に分類されます。また、技能職の新入社員は、技能訓練センターにおいて1年間の講義や実技実習などを行い、技能職としての基礎および専門的な訓練を受けた上で各職場に配属しています。

### ■技能伝承

卓越した製造技術や知識を持った社員を「技能マイスター」として認定し、後進の指導育成を行っています。当社では、これまでに3名の「現代の名工」を輩出し、2名が黄綬褒章を受章しています。ほかにも、特級技能士を多数輩出しています。

## 地域社会とともに

### 当社の使命と魅力を伝えるために

#### ■インターンシップの受け入れ

地域の工業高校からインターンシップを受け入れ、実際の製造現場での体験などを通じて、当社の「ものづくり」への理解を深めていただく活動を行っています。

#### ■大学への寄附講座や体験講座への参加

横浜グリーン購入ネットワークが主催する寄附講座に参加し、当社の事業内容を通じて、鉄道の歴史や環境に関する理解を深めていただきました。当社は大学などの教育機関で開催される企業参加型の講座において、業務で培ったノウハウや事業内容を活かした講義を行っています。

#### ■「よこはま協働の森基金」への協力

当社は、横浜製作所のエンジニアリングセンターに設置している自動販売機の売上の一部を基金に寄附し、横浜市が中心となって活動している小規模樹林地の保全活動に協力しています。

#### ■工場見学会の実施

例年、当社の事業内容への理解を深めていただくため、地域の皆様に工場や製品を実際にご覧いただく「工場見学会」を実施しています。工場見学会では製品の紹介のほか、環境への取組みや工場内の設備などについても紹介し、地域との信頼関係を築いています。

#### ■工場周辺の清掃活動を実施

「人と地域を大切に作る取組み」の一環として、横浜製作所、滋賀竜王製作所勤務の社員が定期的に工場周辺の清掃活動を実施しています。

また、滋賀竜王製作所は、滋賀県のマザーレイクゴールズ(MLGs)に賛同を表明し、地域社会と連携して琵琶湖周辺の河川の清掃活動に参加しています。

